

授業科目名	【G】	研究会 I・II	区分	必修	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	メディア、インターネットに関する法を学ぶ				担当者	渡邊 美樹		
授業概要	【概要】	情報伝達技術の多様化は、複雑な権利侵害を引きおこしています。SNSが広く普及、発達した情報社会では、被害の拡大が容易になされ、その態様も様々となりました。この授業では、教材を輪読したうえで発表やディスカッションを行ない、メディアやインターネットに関する法について理解を深めます。						
	【到達目標】	法的視点を養い、変容し続ける情報環境に対応できる力を身につけることができる。						
履修条件	特になし							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【○】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	特になし							
教科書	開講時に指定する(※水谷瑛嗣郎編『リーディングメディア法・情報法』(2022, 法律文化社)などを予定)							
参考書	適宜指示する							
評価方法	発表60%, 授業への参加態度40%							
フィードバック方法	質問については回答を、コメントシートについては解説を行います。							
評価基準	授業に出席するのみならず積極的に参加し、課題を達成するとともに、学習した内容をよく理解した者はその程度に応じて「S」または「A」、不足がある者はその程度により「B」または「C」とし、参加度または達成度が著しく低い者はその程度に応じて「D」または「E」とします。なお、所定の出席要件を満たさない場合などは「F」とします。							

授業 科目名	【G】 研究会 I・II	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
		必 修				
授業内容	<p>授業では、まず、情報社会を考えるにあたって重要となる、メディアやインターネットに関する法について論じられた教材から、重要なテーマをピックアップし輪読することにより、今日的状况を把握する。発表担当者はレジユメを作成し、プレゼンテーションを行う。テーマについて全員でディスカッションし、課題解決について議論するとともに、多角的視座を身につける。 ※初回はイントロダクションにて、レジユメの作り方やプレゼンテーションの仕方、授業を受けるにあたっての注意事項など</p>					
予習内容	<p>発表担当者は、リサーチ、レジユメの作成・プレゼンテーションを行い、発表担当者以外の参加者は、リサーチ、ディスカッションの準備を行う ※毎回90分程度の予習が目安となる</p>					
復習内容	<p>教材や資料の再読、要点の再考など ※毎回90分程度の復習が目安となる</p>					
その他	<p>特になし</p>					